



若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 18

力強いスイングでカップをめざす

田野浦小学校6年 松浦 葵さん

来月8日に福島県で開催される第12回日本女子プロゴルフ協会全日本小学生ゴルフトーナメントに田野浦小学校6年の松浦葵さんが中国地区代表として出場します。

父・公孝さんの影響を受け、小学3年生のときにゴルフを始めた松浦さんは、「少ない打数でカップにボールを入れることができたときが楽しい」と話す表情にあどけなさの残る小学生ですが、クラブを握ると一変。飛距離は平均210ヤードと大人顔負けのパワー



▶ カップまでの距離を計算し、1打1打を大切にします



を見せます。

毎日1時間、自宅でパット練習や素振りに励むほか、週に3回、練習場でプロの指導を受けながら練習を重ねています。

「もっと上手になって、スコアを縮めたい」。そう思っただけで入れているのが、主に2打目で使うクラブでのショット練習です。飛距離を安定させるため、鏡を使ったフォームの確認やスイングの幅の調整を繰り返して、動きを体に覚え込ませています。この練習に加えて、中学生など自分よりも年上の選手が出る大会に出場し、精神面も鍛えています。

先月開催される予定だった第11回全国小学生ゴルフ大会が台風の影響で中止になり、「悔しかった」という松浦さん。その悔しさを胸に今大会の予選会に挑み、再び全国行きの切符を手に入れました。全国大会では「ミスをせず、自分のベストスコアで結果を残したい」と気を引き締めます。松浦さんの夢は「プロゴルファーになること」。飛距離とショットの正確さが強みの韓国人プロゴルファー・イ・ボミ選手を目標に、今日も力強いスイングでボールを飛ばします。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

本町ノスタルジア

撮影エピソード 撮影者 法代地 昭年さん

三原の夏の風物詩「半どん夜市」。提灯の明かりで照らされた通りにやっさ踊りの地方の音色が響き、ノスタルジックな一夜でした。



●撮影年月 平成29年7月
●撮影場所 本町

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ